

巻頭言

東京都看護協会学会誌 創刊に寄せて

公益社団法人 東京都看護協会学会誌 編集委員会
東京医療保健大学 東が丘看護学部
東京医療保健大学大学院 看護学研究科 教授
竹内 朋子

このたびは東京都看護協会学会誌がつつがなく創刊されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

地域別看護職能団体のひとつである東京都看護協会が、独自に学会誌を創刊し、定期的に看護研究を発信していく役割を新たに果たすことは、会員である看護職の皆様をはじめ、皆様の看護の対象となる方々にとっても、きわめて大きな意義があると考えます。

臨床の看護実践にEvidence Based Nursing (EBN) が重視される今日、そのevidenceを構築する担い手が続々と臨床から誕生しています。看護職の皆様が日々の看護実践を通して見つけた様々なResearch Questionが、看護研究によってevidenceを生み、それがまた日々の実践に活かされていく循環に、この学会誌が大いに貢献されることと期待申し上げます。